

日本鉱物科学会 平成20年度第3回 定例評議員会議事録

日時：平成21年9月8日(火) 18:00~20:00

会場：北海道大学理学部6号館11階会議室(6-11-17)

出席：

会長：松原 聡

副会長：大谷栄治

評議員：赤井純治，石渡 明，入船徹男，榎並正樹，工藤康弘，
土山 明，廣井美邦，坂本尚義，赤坂正秀，小山内康人，
奥山康子，鍵 裕之，平島崇男，吉朝 朗，黒澤正紀，
小暮敏博，長瀬敏郎，林信太郎

委任状：吉田武義，富樫茂子，赤荻正樹，小澤一仁，鈴木和博，
田切美智雄，中村美千彦，宮嶋 敏，村上 隆

庶務幹事：小山内康人

会員幹事：平島崇男

会計幹事：石渡 明

行事幹事：大和田正明

和文誌編集幹事：赤坂正秀

英文誌編集幹事：榎並正樹

渉外幹事：柳澤教雄

広報幹事：柳澤教雄

会計監査委員：長瀬敏郎，高橋裕平

日本地球惑星科学連合連絡担当委員：

大谷栄治，小暮敏博，黒澤正紀

三鉱連絡委員：小山内康人，大和田正明

選挙管理委員会委員：片山郁夫

行事委員会委員長：大和田正明

GKK 編集委員会委員長：赤坂正秀

JMPS 編集委員会委員長：榎並正樹

広報委員会委員長：柳澤教雄

普及教育委員会 委員長：奥山康子

科学研究費問題検討委員会委員長：赤井純治

新鉱物・命名・分類委員会委員長：松原 聡

将来企画委員会委員長：大谷栄治

名誉会員推薦委員会委員長：廣井美邦

議事に先立ち，村上評議員から IMA・Elements 誌を鉱物科学会として正式加盟講読団体となることの可能性について，提案がなされた。

I. 報告事項

1. 会員報告(平島会員幹事)

平成20年度第2回評議員会以降の会員動静について報告があった。物故会員5名(名誉会員3名，永年会員1名，学生正会員1名)，退会者36名(永年会員1名，一般正会員24名，学生正会員11名)，であり，現時点での会員数は965名となった。賛助会員，講読会員を含む団体登録は，185件である。

2. 広報・渉外報告(柳澤広報・渉外幹事)

平成20年度は，公募情報，関連学会情報等について41回のメール配信を行い，学会HPへの掲載も行った。

3. 和文誌(GKK)編集報告(赤坂GKK編集幹事)

8月31日現在，38巻4号(7月号)まで発行済み。現在の投稿論文は8編。岩石鉱物科学37巻5号(9月)~38巻4号(7月)の掲載件数と頁数は以下の通り。原著論文5件47p，総説4件65p，資料・解説6件34p，訂正1件1p，新刊紹介8件4p，ニュース(他学会案内，教官公募等)4p，学会記事(評議員会・総会議事録，連合ニュース等)34p，2009年会案内，プログラム30p，追悼文6件6p，総目次2p，広告10件10p，白頁5p，合計242頁。

JST 電子アーカイブにより，「旧鉱物学雑誌」が公開された。現時点で，編集委員会ではJ-STAGEの公開内容，GKKの制限ページ数増，「鉱物学雑誌」電子アーカイブデータ保存などが議論されている。

4. 英文誌(JMPS)編集報告(榎並JMPS編集幹事)

8月31日現在，104巻4号(8月号)まで発行済。5号(10月号)は原著論文3編，連合Letter8編を掲載予定。6号(12月号)は原著論文4編，連合Letterを掲載予定。現在査読中の投稿論文は34編。2009年年会での講演発表Letterの投稿を募集中。JMPS103巻5号(10月)~104巻4号(8月)の掲載件数と頁数は6号分で以下の通り。Article25件233p，Letter21件119p，Min. Abst.194件33p，Editorial4p，Errata1件1p，投稿規定等12p，Index6p，Contents6p，白頁4p，合計418頁。

JMPS編集委員会では，ページチャージと投稿規定の一部改訂，オンライン投稿システム，Lettersの今後のあり方。電子アーカイブ化について検討している。

5. 行事・年会報告(大和田行事幹事)

日本鉱物科学会2009年年会・総会は2009年9月8日(火)~10日(木)の間，北海道大学で行われていること，日本地球惑星科学連合2010年大会は2010年5月23日(日)~5月28日(金)の間，幕張メッセ国際会議場で行われること，日本鉱物科学会2010年年会・総会は2010年9月23日(木・祝)~25日(土)に島根大学で開催される予定であることが報告された。その他として，ポスター賞の審査結果が報告された。行事委員会では，ポスター賞審査方法，年会における今後のセッションの持ち方について再検討している。

6. 庶務報告(小山内庶務幹事)

平成20年度第2回評議員会以降の評議員会関連事項4件，地惑連合関連事項1件，声明文1件，後援・共催・協賛事項6件について報告があった。また，事務局用ノートパソコン購入について報告があった。

7. 日本地球惑星科学連合報告(大谷委員)

2010年連合大会プログラム委員((正)角替利昭，(副)長瀬敏郎)について報告があった。また，地惑連合の公益法人申請予定についての報告，および地惑連合代議員選挙についての依頼があった。

8. 評議員選挙報告(片山選挙管理委員)

平成21年度評議員選挙結果について，次のような報告があった。

評議員任期3年：

上原誠一郎，大和田正明，川本竜彦，貴治康夫，榊原正幸，
土屋範芳，中牟田義博，濱本拓志，宮脇律郎，柳澤教雄

(以上五十音順)

<次点>角替敏昭

投票用紙発送日：平成21年6月30日

投票用紙発送数：978通(海外15通含む)

投票必着締切日：平成21年7月31日

開票集計日：平成21年8月6日

総投票数：372票(有効投票370票 無効投票2票)

正会員立会人：大川真紀雄

9. 三鉱連絡会報告(大和田委員)

2009年5月開催第1回以降特記事項なし

10. 科研費報告(土屋特務幹事：代理 石渡会計幹事)

8月21日に実施された平成20年度JMPS科研費における経

理状況等の実地検査及び意見交換会の報告、および平成 22 年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)公募に関する説明会への出席者依頼があった。

1.1. 将来企画委員会報告 (大谷委員長)

平成 21 年 5 月 23 日開催の将来企画委員会(幕張)における以下のような検討事項が報告された。1) 年会のありかたに関して、2) IMA・エレメント誌の購読に関して。平成 20 年度第 2 回委員会は、9 月 7 日に開催。

1.2. 学術会議報告 (大谷連携委員)

IMA 分科会報告、および学術会議地球惑星科学委員会報告が紹介された。

II. 承認事項

1. 会員承認 (平島会員幹事)

正会員 9 名、学生正会員 25 名の入会申込書が回覧され、入会が承認された(入会者名後記参照)。また、永年会員への移行 1 名(吉永真弓、1930 年 7 月 30 日生まれ)が承認され、議決により 16 名が除名となった。

2. 平成 20 年度会計決算報告・承認 (石渡会計幹事)

日本鉱物科学会平成 20 年度会計決算報告および日本鉱物科学会平成 20 年度特別会計決算報告が行われ、質疑・応答の後、承認された。

1) 日本鉱物科学会平成 20 年度会計決算報告 (後記 表 1)

2) 日本鉱物科学会平成 20 年度特別会計決算報告 (後記 表 2)

3. 平成 20 年度会計監査報告・承認 (高橋・長瀬会計監査委員)

平成 20 年度会計監査が平成 21 年 9 月 2 日に高橋・長瀬両会計監事により行われ、帳簿類、会計内容とも問題ないと確認された旨が報告され、質疑の後、承認された。

4. 総会議題案 (小山内庶務幹事)

平成 21 年 9 月 9 日開催の平成 21 年度総会議題案が提示され、質疑の後、承認された。

一 開会

一 議長選出

一 物故会員への黙祷

一 報告及び承認事項

1. 平成 20 年度事業報告

2. 平成 20 年度会計決算報告・承認

3. 会計監査報告

4. 平成 21 年度評議員選挙結果報告

5. 名誉会員推薦報告

6. その他

一 審議事項

1. 平成 21 年度事業計画

2. 平成 21 年度予算案

3. 名誉会員審議

4. その他

一 日本鉱物科学会賞授与

一 渡邊萬次郎賞授与

一 日本鉱物科学会論文賞授与

一 日本鉱物科学会研究奨励賞授与

一 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与

一 櫻井賞授与

一 日本鉱物科学会研究発表最優秀者賞授与

一 日本鉱物科学会研究発表優秀者賞授与

III. 審議事項

1. 名誉会員推薦委員会答申について(廣井委員長)

日本鉱物科学会名誉会員推薦委員会廣井委員長から、松本 崧生会員、床次正安会員、島津光夫会員の 3 名を本学会名誉会員に推薦することが答申され、審議の結果、満場一致で承認された。

2. 平成 21 年度会計予算案について (石渡会計幹事)

日本鉱物科学会平成 21 年度一般会計予算案および日本鉱物科学会平成 21 年度特別会計予算案が提示され、審議の結果、承認された。

1) 日本鉱物科学会平成 21 年度一般会計予算

2) 日本鉱物科学会平成 21 年度特別会計予算

3. シニア会員の設置について(平島会計幹事)

日本鉱物科学会にシニア会員枠を設定することが提案され、審議の結果、WG を設置して若手会員の増加を含めて検討することとなった。なお、本件は会員規則(会則第 5 条など)の改正が必要となる。

4. 特務幹事(科研費一般競争入札担当)の設置の件

(小山内庶務幹事)

科研費を使用した雑誌発行に関する一般競争入札の重要性が議論され、審議の結果、長瀬会員を特務幹事として選出した。

5. 科研費問題検討委員会の今後について (内規改正)

(小山内庶務幹事)

科研費問題検討委員会のあり方について議論し、本委員会を必要に応じて設置することとした。なお、委員会設置に関する内規の改正が必要である旨も議論された。

6. 応用鉱物科学賞受賞者資格について

運営細則第 39 条 5 項の改正

本賞は会員以外の受賞者もあり得ることから、内規を改正して受賞者資格を「会員」から「者」に変更することが提案され、審議の結果、承認された。

7. 会則・内規検討委員会の設置について

上記審議事項(3, 5, 6)に関連して、会則・内規検討委員会の設置について審議し、承認された。委員長は会長指名により、土山会員が選出され、その他の委員は学会統合時の会則・内規検討委員とすることになった。

8. IYPE(国際地球惑星年平成 21 年度、最終年)協賛金の件

審議の結果、平成 21 年度も IYPE 協賛金として、1 口 5 万円を拠出することとした。

9. 国際地学オリンピックへの協賛金額の件

審議の結果、平成 21 年度も平成 20 年度と同様に、地学オリンピック日本委員会に対し 10 万円を拠出することとした。なお、地学オリンピックに関する定期的な情報提供を依頼する旨も確認した。

10. その他

IMA・Elements 誌の購読について、鉱物科学会として正式加盟購読団体となることの可能性について議論し、継続課題とすることとした。